

抄訳文記入上の注意

(米国婚姻証明書・外国パスポート・米国出生証明書)

以下の項目以外の内容について記入する必要はありませんが、該当する項目は、**省略せずに英文の記載のとおり**を日本語に訳して記入して下さい。

◆婚姻証明書抄訳文記入上の注意◆

1. 夫になる人の氏名

- 証明書に書いてあるとおりに訳して下さい。
- 外国人の氏名は、日本式の順番でカタカナで書いて下さい。名については、ミドルネームがあるときは先にファーストネーム、次にミドルネームの順に記入して下さい。ただし、ファーストネームとミドルネームの間に、「・（点）」や「,（コンマ）」などの記号は記入しないで下さい。
- **婚姻届、婚姻証明書、出生証明書および戸籍上の氏名は全て一致している事**が原則ですが、婚姻証明書の氏名にミドルネームを省略してその頭文字のみを記載されたものや、記載がない等、相違がある場合があります。その際は、氏名の欄の下空欄に下記の例に従い説明を加えて下さい。

＜例＞ミドルネームが頭文字のみ記載されている場合

ラストファーストエムサードと、ラストファーストミドルサードは同一人物である

＜例＞サードの記載が抜けている場合

ラストファーストミドルとラストファーストミドルサードは同一人物である

- 日本人の氏名は、婚姻証明書と戸籍に記載されている氏名と一致するはずですが、一致していない場合は、上記と同様に氏名の欄の下空欄に説明を加えて下さい。

2. 妻になる人の氏名

上記 1. と同様です。

3. 婚姻の方式

印刷されている州については、該当するところを ☒ チェックして下さい。他の州または、他の国については空欄に正確な国名等を記入して下さい。

4. 婚姻日

該当する日を元号にて正確に記入して下さい。

5. 証明書発行者職名

上記 3. と同様ですが、不明な時には戸籍係までご相談ください。

6. 証明書作成または発行年月日

該当する日を記入して下さい。

7. 翻訳者氏名

一般的には、届出人が訳すことが多いかと思いますが、翻訳者氏名を明記してあれば、誰が翻訳してもかまいません。

◆外国人配偶者のパスポート抄訳文記入上の注意◆

旅券

正式な国名を書いてください。

旅券番号

旅券に書いてあるとおりに書いてください。

氏名

旅券に書いてあるとおりに訳して下さい。

国籍

正式な国名を旅券に書いてあるとおりに訳して下さい。

生年月日

旅券に書いてあるとおりを西暦にて正確に記入してください。

性別

該当するところを☒ チェックして下さい。

出生地

出生地を番地まで記入するのではなく、**旅券に記載されている部分のみ**を訳してご記入下さい。

発行日および有効期限日

西暦で記入してください。

発行官庁

旅券に書いてあるとおりを正確に記入してください。

翻訳者氏名

一般的には、届出人が訳すことが多いかと思いますが、翻訳者氏名を明記してあれば、誰が翻訳してもかまいません。

1. 子の氏名

証明書に書いてあるとおりに訳して下さい。書き方については、婚姻証明書抄訳文記入上の注意の **1. 夫になる人の氏名** をご参照の上、ご記入下さい。

2. 性別

該当するところを ☒ チェックして下さい。

3. 生まれたとき

西暦でご記入ください。
出生時間は、英文の証明書に記載のないことが多いのですが、記載がある場合は訳して下さい。

出生時間は、24時間制ではなく12時間制で記入して下さい。
英語の証明書に夜中の **12:45AM** は、日本語訳**午前0時45分** となり、英語の証明書に昼の **12:45PM** は、日本語訳**午後0時45分** となります。

4. 生まれたところ

母親の居住地 (USUAL RESIDENCE OF MOTHER) と混同されている場合がありますが、**出生地 (PLACE OF BIRTH) の部分のみ** をご確認の上、ご記入下さい。

5. 父および6. 母の氏名

証明書に書いてあるとおりにご記入下さい。書き方については、婚姻証明書抄訳文記入上の注意の **1. 夫になる人の氏名** をご参照の上ご記入下さい。

母の氏名については、子の出生時に父と母が婚姻中である場合は、氏（うじ）の欄は“//”又は“同上”とし括弧内に旧姓 (MAIDEN NAME) をご記入下さい。

子の出生時に父母が婚姻していなかった場合は、英文の証明書に記載されているとおり、それぞれの氏名を記入して下さい。

7. 証明書作成者または発給者職名

証明書によっては、表示方法にばらつきがあるため、わかりにくいこともあるかと思いますが、不確かな場合は、記入前に当館戸籍係までご相談下さい。

8. 証明書作成または発行年月日

該当する日を記入して下さい。

9. 翻訳者氏名

一般的には、届出人が訳すことが多いかと思いますが、翻訳者氏名を明記してあれば、誰が翻訳してもかまいません。